

コード	301030308
記入日:	H21.6.2

課コード	133
課名	新魚目診療所
課長名	原 重光
担当者	浜田 新吾

事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	榎津診療所管理運営事務費
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	4		
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード			
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード			
事務事業コード	3010303	事務事業名称	国民健康保険診療所特別会計事業費	細目コード			
関連計画	医療体制再編計画		法令・条例規則等	新上五島町国民健康保険診療所条例			

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	診療所地域住民	(対象指標1) 診療圏内住民約2,300名				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	光熱水費、委託料等の一般管理費; 3,566千円 研究研修費; 2,063千円 薬の購入代等の医薬費; 55,916千円 施設の整備費; 298千円	① *****	*****	*****	実診療日数/診療予定日数	*****
		年間診療可能日数	243日	100%		平成21年度
		(達成率分析)	ほぼ、当初の計画どおりに事業が行えた。			
		② *****	*****	*****	*****	*****
		(達成率分析)				
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
町民が健康で安心して生活できるような診療体制を維持する。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① *****	*****	*****	実績(21.09%) / 計画(H20実績:21.19%)	*****
		外来受診率	21.09%	99.5%		平成21年度
		(達成率分析)	平成20年度と比較してほぼ変わらない受診率となった。今後も地域のかかりつけの診療所としての役割を果たしたい。			
		② *****	*****	*****	*****	*****
		(達成率分析)				

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 日	1236	1230	987	243	243					
	②										
成果指標	① %	22	21.53	22	21	21.09					
	②										
総事業費C (A+B)	千円	545,359	544,267	440,424	104,935	103,843					
直接事業費 A	千円	335,359	334,267	272,424	62,935	61,843					
人件費 B	千円	210,000	210,000	168,000	42,000	42,000					
内訳	従事職員数	人	30.0	30.0	24.0	6.0	6.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円	3,100	3,100	3,100						
	その他	千円	34,158	28,426	18,312	15,846	10,114				
一般財源	千円	508,101	512,741	419,012	89,089	93,729					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	地域の医療を充実させるために必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	人口の減少等の理由により受診件数は減少傾向にあるが、事業を廃止する事はできない。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	地域住民の健康の維持・増進のためであり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	地域医療の確保という面で成果をもたらしている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	不足している医師の雇用などの診療体制の充実により可能。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	地域住民の健康に対する不安の増大、利便性の低下による経済的・精神的負担の増加などが懸念される。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	他に類似事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	事業費の大きな割合を占める医薬材料費をはじめ、ほとんどの物品の購入や委託契約等において、複数業者からの見積り徴取などの方法により、可能な限り経費の削減を行っており、これ以上の削減は見込めない。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	現在の人員を減らす事は管理運営を行ううえでできない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	医療保険制度に則っており、受益者負担は適正である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	地域住民の健康の維持・増進のためには今後も事業を継続していく必要がある。
		有効性	医師の確保、医療機器の導入には財政的な負担も大きいですが、可能な限り雇用、整備する事で医療サービスの向上につながり、患者の増加など成果の向上が見込まれる。
		効率性	現在の施設を管理運営していくには、これ以上の経費の削減は出来ない。
		課題に向けた改善策	現在の運営形態を維持していく。
	2次評価	妥当性	住民の医療サービスの確保のためにも妥当である。
		有効性	住民の医療サービスの確保のためにも医療体制・施設の維持管理に努めること。
		効率性	効率的な診療所運営に今後も努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
				このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。